

活動報告

平成18年度 厚生連放射線技師会学術活動

栃尾郷病院放射線科；診療放射線技師

わかばやし ふじ あき
若林富士昭

厚生連放射線技師会が平成18年度に企画運営した研修会は、春季と秋季年2回の「厚生連放射線技師会研修会」、前期・後期年2回の「新採用・3年未満技師合同研修会」、年1回の「技師長・主任研修会」がありました。そのなかで新人研修については、これまで新採用技師と3年未満技師で別々の研修会を行っていましたが、近年新採用技師が少ない事と一般の技師からも新人研修に参加したいとの要望が強いため、教育委員会での協議の結果一般技師がオープン参加可能な合同研修会での開催となりました。

全県・全国的な研究会・学会等につきましては例年通りの参加でしたが、特にモダリティー別のより専門的な研究会が県内規模で数多く開催され、若手・中堅技師を中心に積極的な参加がありました。多くの新しい装置が各施設に導入されていますが、仕事内容が益々専門化され難しくなっている現在、このような研究会に積極的に参加したいと言う技師へのバックアップ体制を整える必要があると思います。

以下、平成18年度各研修会の活動内容を示します。

【第104回厚生連放射線技師会春季研修会】

時 平成18年5月28日（日）
所 朱鷺メッセ（中会議室301）

内容 パネルディスカッション「マンモグラフィ撮影の実情と認定技師の役割」

司会 刈羽郡総合病院 小嶋 浩之

パネリスト

- | | | |
|--------------------------------|----------|-------|
| 1. 「厚生連におけるマンモグラフィの現状と問題（第2報）」 | 豊栄病院 | 佐久美瑞枝 |
| 2. 「マンモグラフィ施設画像認定を受審して」 | 糸魚川総合病院 | 須田 涼子 |
| 3. 「マンモグラフィ撮影の実情」 | 長岡中央総合病院 | 堀 恭子 |
| 4. 「マンモグラフィ撮影認定技師の役割」 | 魚沼病院 | 丸山小百合 |

【要旨】

前年春の第102回技師会の宿題報告であった「厚生連におけるマンモグラフィの現状と問題」を発展させたパネルディスカッションである。現在、全国的に増加しているマンモグラフィ認定技師を取得している厚生連の女性技師が、各視点よりの様々な認定技師の役割・必要性、厚生連病院での問題点、施設認定取得の手順などを討論しました。

認定技師の人員や撮影件数の増加などにより、マンモグラフィを全て認定技師で撮影することは難しいが、その役割として精度管理や啓蒙活動などを積極的に行うことが重要である。新しい装置更新の施設が増えたが、管理ツールの不備で精度管理が不十分である事や、社会的信用を得る為に認定技師・施設認定の増加がさらに望まれる事などが確認されました。

会員研究発表 3題

特別講演 講師 遠藤 ケイ 先生

総会・学会参加報告・その他

【第105回厚生連放射線技師会秋季研修会】

時 平成18年12月3日（日）
所 長岡中央総合病院 講堂

内容 特別講演 「最新の放射線治療について」

講師 新潟大学医歯学総合病院 笹本 龍太 先生

会員発表 「長岡中央総合病院の放射線治療の紹介」

長岡中央総合病院 竹中 真一

会員研究発表 6題

総会・学会参加報告・その他

【平成18年度新採用・3年未満技師前期合同研修会】

時 平成18年7月22日（土）
所 長岡中央総合病院 本館3F ラウンジ
対象者 水落 香織（長岡中央）、島田 和範（中条）

内容 テーマ「MRI：頭部、骨盤部を中心に」

- | | | |
|------------------|------|-------|
| ① MRIの基礎 | 刈羽 | 木村 庄一 |
| ② 頭部・解剖を中心に | 糸魚川 | 徳山 克一 |
| ③ 骨盤部・解剖を中心に | 長岡中央 | 五十嵐一美 |
| ④ 頭部の実際・臨床例を中心に | 長岡中央 | 若山 隆夫 |
| ⑤ 骨盤部の実際・臨床例を中心に | 三条 | 折笠 康宏 |

【平成18年度新採用・3年未満技師後期合同研修会】

時 平成18年11月25日（土）
所 長岡中央総合病院 検診センター 会議室
対象者 水落 香織（刈羽）、島田 和範（中条）、舟波 貴弘（佐渡）

内容 テーマ「画像情報ネットワークについて」

- | | | |
|------------------------|------|--------|
| ① ネットワーク概論 | 三条 | 折笠 康宏 |
| ② PACS管理 | 糸魚川 | 木村 庄一 |
| ③ HIS/RIS（オーダーリングを中心に） | 長岡中央 | 五十嵐、若山 |
| ④ 臨地実習（長岡中央のシステム実習） | 長岡中央 | 五十嵐、若山 |

【要旨】

病院全体のネットワーク整備はそれほど急速には進んでいない現状のなかで放射線科においては、新しい装置導入のタイミングで画像ネットワークが整備される現実があります。問題は、その画像ネットワーク管理にはそれ相応の知識と経験が必要である事と、転勤による管理業務引継ぎの難しさです。

このような事情のなかで、今回は特に広く各病院よりオープン参加者を募りネットワーク概論から実習までの研修をおこなった。

【平成17年度技師長・主任研修会】（18年度は19年2月開催予定）

時 平成18年2月19日（日）
所 長岡中央総合病院 会議室

内容

- 講演 「検証 新潟県中越地震」～自分の命は自分で、地域は地域で守る～
講師 妻有防災研究所 所長 尾身 誠司 先生
- 防災マニュアルの検討 司会進行 魚沼 坂上富司男

【要旨】

平成16年10月の中越地震の経験をもとに、防災士からの観点で尾身先生より講演していただいた。防災士とは災害に直面した時に、あれこれ指示するのではなく日常的に危機管理をする事が大切である。又、企業だけでなく地域としても自主防災組織を作るなどの準備が必要であるとの内容であった。

防災マニュアルの検討では各施設で病院全体のマニュアルはあるが、放射線科独自のものを作ってる所は少数だったので見直しが必要との事であった。

【平成18年度学会等派遣】

日本放射線技術学会 第62回 総会・学術大会（横浜）	5名
日本放射線技師会 平成18年度 北関東地域学術研修会（つくば）	8名
日本放射線技術学会東北部会 第44回 学術大会（福島）	2名
日本放射線技師会 第22回 総合学術大会（米子）	1名
日本放射線技術学会 第34回秋季学術大会（札幌）	2名